

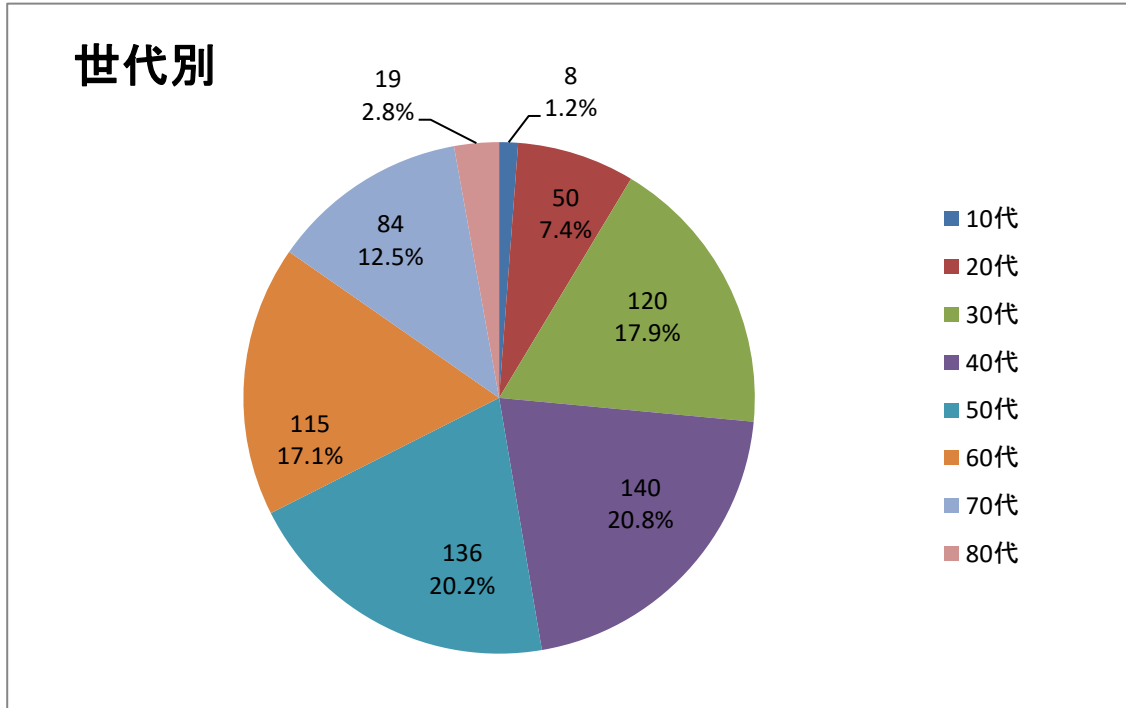
第11回eモニターアンケート 「多文化共生について」

実施期間
回答数

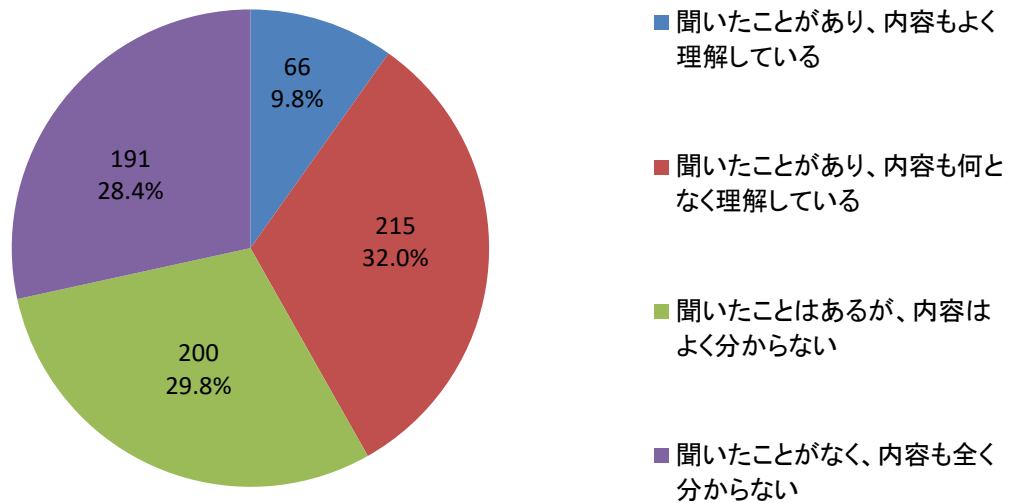
令和5年12月1日 ~
672 人

令和5年12月8日

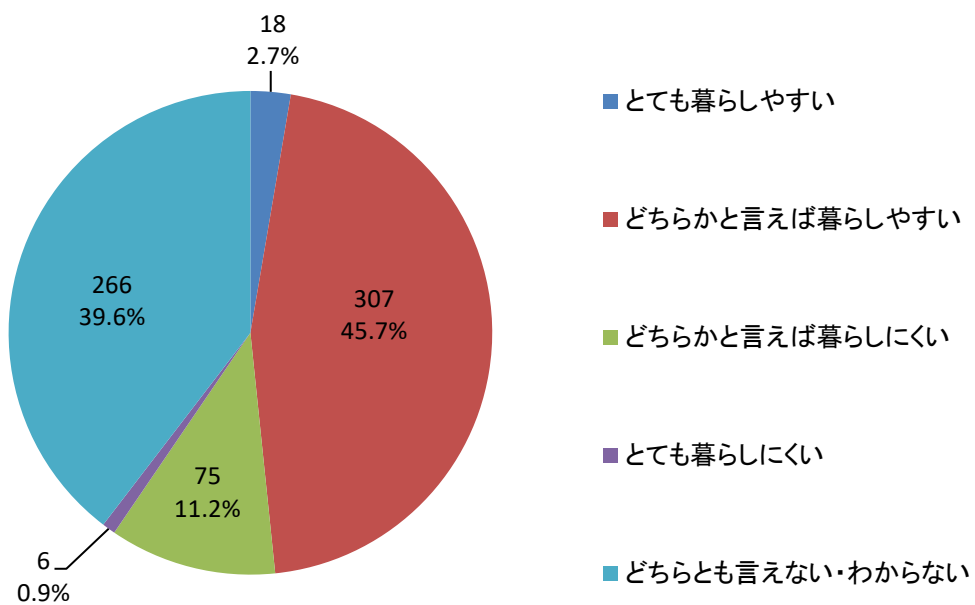
※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人



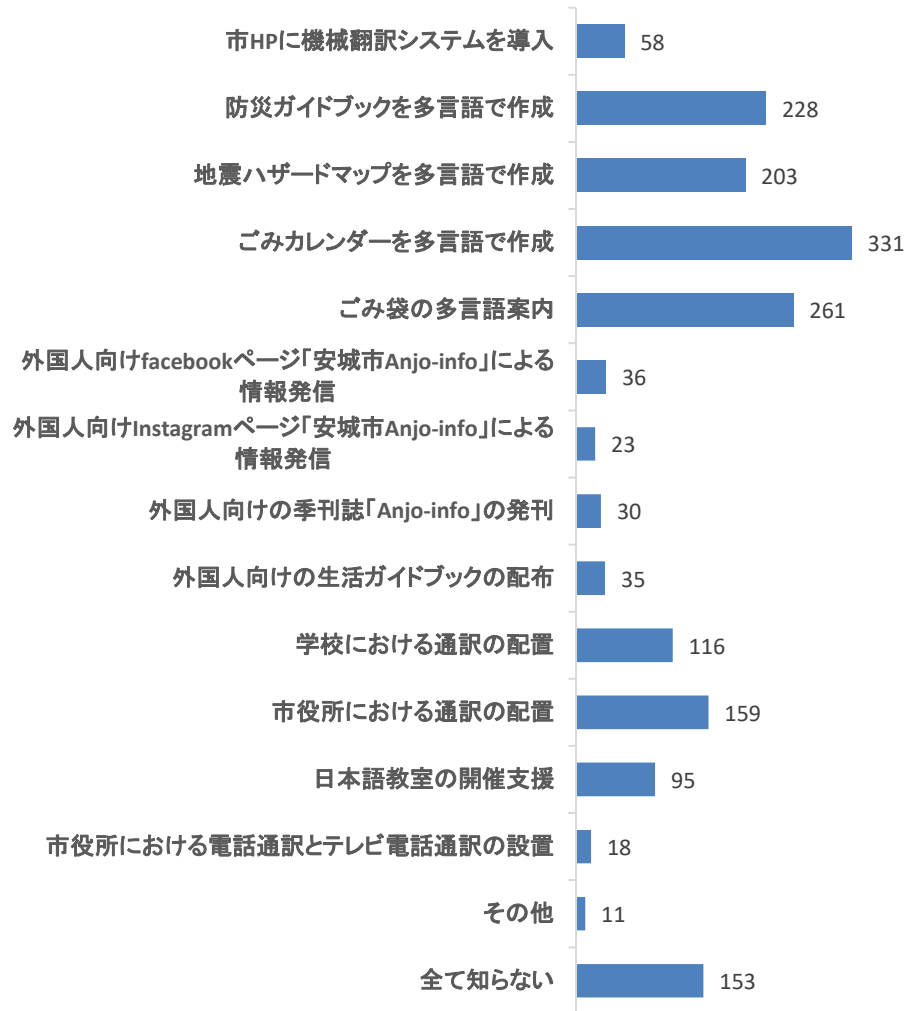
問1：「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。



問2：外国人にとって安城市は暮らしやすいと思いますか。



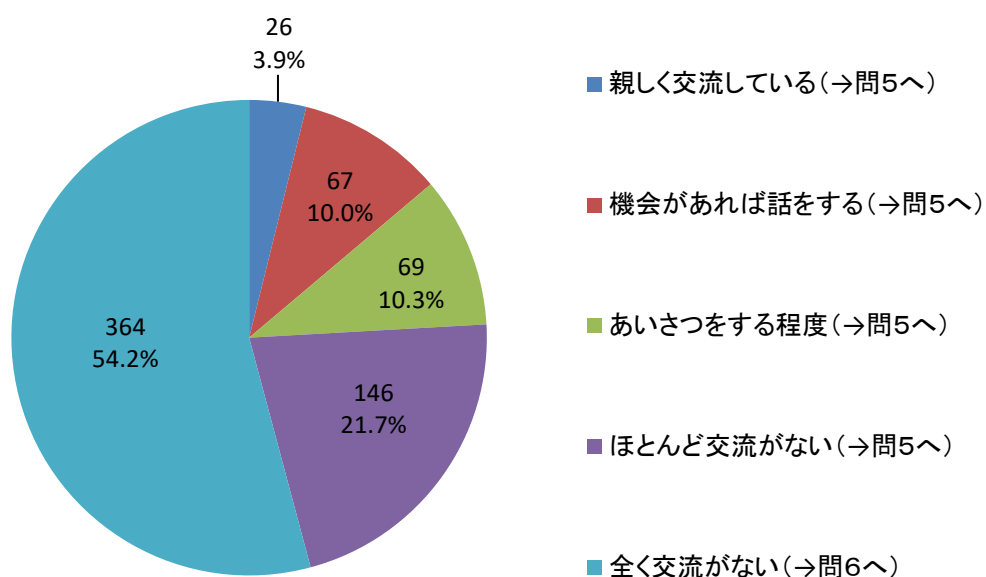
問3:安城市の多文化共生への取組の中で知っているものはありますか。(複数回答)



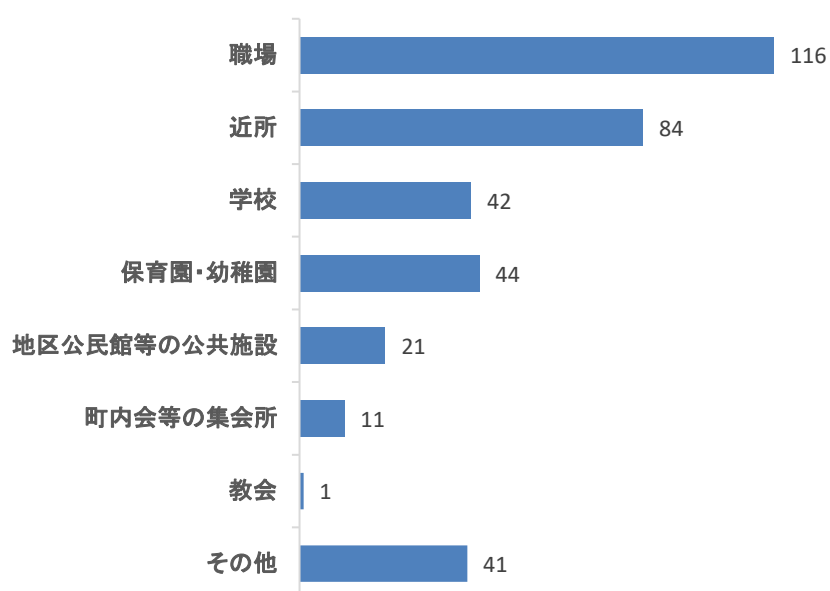
【主なその他の意見】

- ・保育園における通訳の配置
- ・外国語版の家庭用ごみと資源の分け方・出し方早わかりブック
- ・母子手帳、予防接種の案内の多言語対応
- ・公共施設等の多言語表記
- ・広報あんじょうの外国語ページ

問4：外国人市民とどの程度交流していますか。



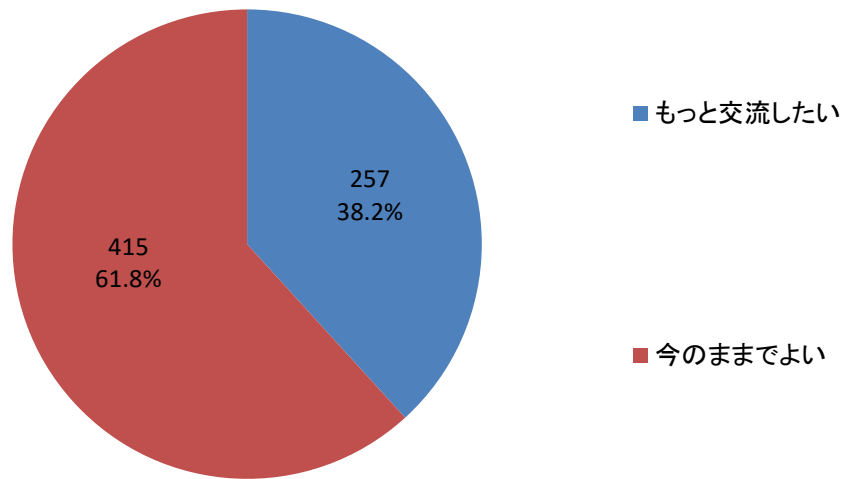
問5：外国人市民とどこで交流していますか。(複数回答)



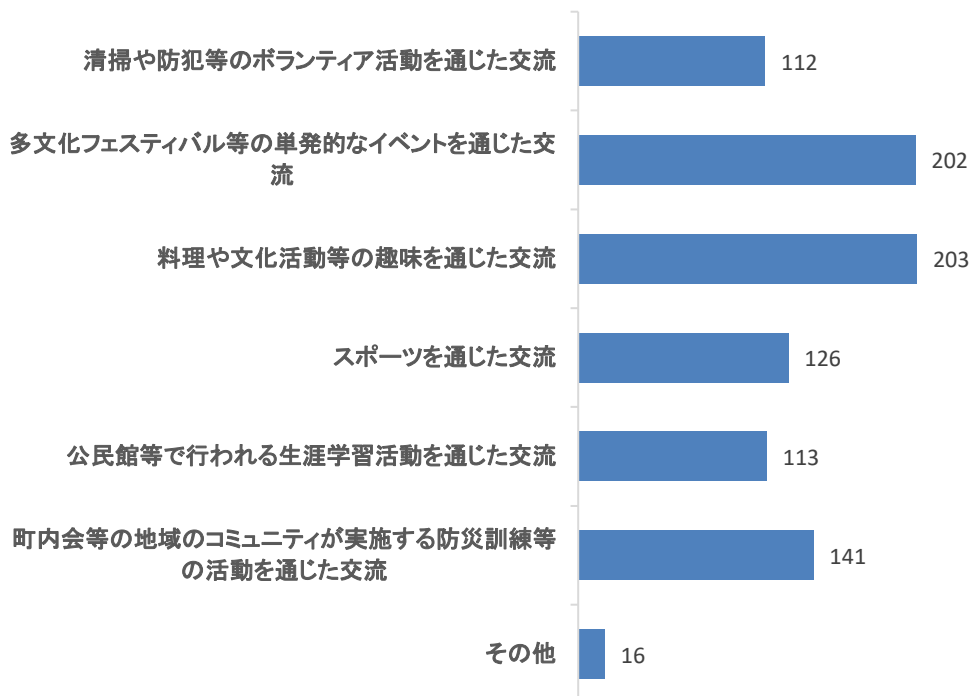
【主なその他の意見】

- ・習い事
- ・買い物先
- ・朝のランニング
- ・スポーツ会場
- ・友人宅
- ・日本語教室
- ・趣味のグループ
- ・公園
- ・アンフォーレでのイベント
- ・ボランティア活動にて

問6：外国人市民と日本人市民との交流についてどう考えていますか。



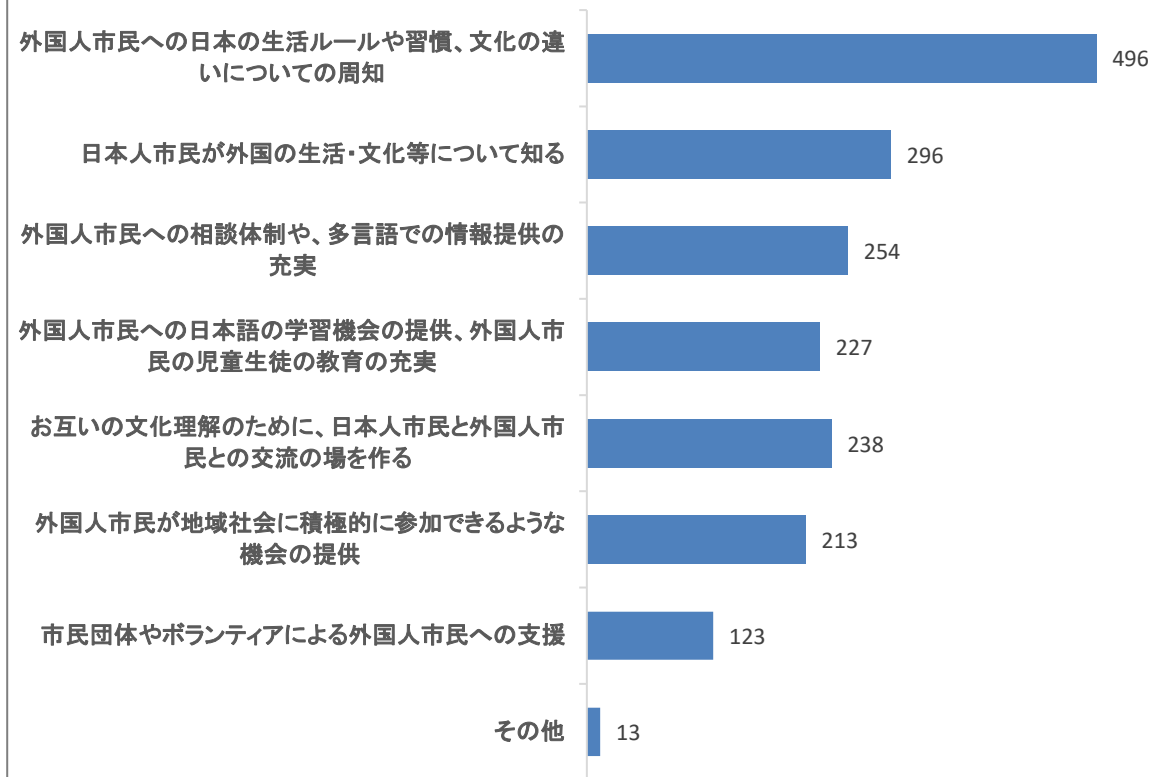
問7：希望する交流形態を選んでください。(複数回答)



【主なその他の意見】

- ・子供を通じた交流
- ・語学教室

問8：国籍に関わらず暮らしやすい社会を目指すには、どのような取組をするべきだと思いますか。（2つまで回答）



【主なその他の意見】

- ・日本人が英語をもっと話せるようになること。
- ・マラソン等、安城市のスポーツイベントと一緒に参加する。

<p>問9：多文化共生に関する意見等、自由にご記入ください。</p>
<p>安城市には外国人が多くいると思います。ほとんど交流のない日本人の率直な意見としては、防犯面などで少し怖く感じることもあります。知らないから偏見があるだけだと自分でも分かっているのに、気軽に交流できる機会があればいいと思います。</p>
<p>小学生の時、同じクラスにブラジル、フィリピン、韓国の人が出て、文化の違いを感じられて楽しかったです。交流のためのお部屋にはいろいろな国のことが紹介されているものも飾られていました。文化交流の場からともに生きることにつながってほしいと思います。</p>
<p>日本に来て、日本国民の義務を果たす者とは共生し歓迎するが、法を守らない者が多数いる。きちんと働いて納税してくれている外国人は歓迎。日本に来て生活保護をうけて暮らす者については、納税者としては別のところに税金を使って欲しいと思うので、厳しく審査してほしい。</p>
<p>Anjoyのママ会に何度か参加しています。 日本語しか話せませんが、外国籍のママさんとお話しできて楽しいです。</p>
<p>安城市は外国人といろいろあったじゃないですか。 ああいうことがあると、外国人って自分勝手だなと思って、余計に嫌いになりました。 働かずして、ミルクを薄めて子に飲ませてるとか。だったら夫婦どちらかが働けよと言いたいです。どこのうちだって、子どもにちゃんとした、ご飯を食べさせるために働いているのだから。外国人には気を付けないといけないな、と再確認した事案でした。 とても多文化共生できないです。</p>
<p>相手を理解するより理解させる方が重要</p>
<p>子供のうちから外国の方と交流すると、日本人と違うと言う差別や偏見等が少なくなる気がする（接し方も）子供が小さいうちから当たり前のように外国の方々と接する事ができると良いなと思います。その為にはいろいろな国の方が住みやすく、住みたい安城市になれると良いなと思います。具体的な案はすぐには出てきませんが。</p>
<p>来年、主人の海外赴任が決まり、「外国人」となります。言語が違うことはもちろんですが、トラブルがあった時や、病気になった時、故障等ですぐに業者を呼ばなければならない時は、どこへ連絡をすれば安全なのか「ここなら間違いない」という連絡先やマニュアルがほしいと思いました。多文化共生で必要なのは、安心感を持てる、ということかと思っています。</p>
<p>新安城駅付近でホコ天をした際、外国人の方のお店が出店しました。 ただ、メニューなど全て外国語で書かれており、多文化の食べ物に興味があったものの、それが何なのかわからず注文をすることができずにいました。 途中で外国語がわかる女性が、どのようなメニューか教えてくれたので注文をすることができました。交流の場を作ってくださいる場合、通訳等、間を取り持ってくださいる方がいると、交流しやすくいいなと思います。</p>
<p>普段外国人と交流する機会はないが、偏見なく仲良くしていくには日本のルールを周知していかなければならないし、日本人も模範となる活動をするよう啓発してほしい。</p>
<p>市内に日本語初期指導教室が2校あるが、母学級に復帰してからの支援を拡充するべき。 教科内容をやさしい日本語で説明する時間が必要。</p>
<p>翻訳アプリ等、会話がしやすくなればもう少し気軽に交流できると思います。</p>
<p>外国人だろうがなんだろうが最低限のルールさえ守ってくれていけば友好的に受け入れます。新安城地区は外国人市民が多い地域で我が家の近くにも引越してくるようになりましたが、ゴミ捨てルールを守らない、公園や道路などでのポイ捨ても平気、道路にたむろって大人数で騒ぐといった人達が目立ちます。そのあたりの迷惑行為を文化という言葉でうやむやにしないで欲しいです。外国語のガイドブックをしっかりと作って、渡すだけでなく転入時の手続きの際に説明までするといった必要があると思います。彼らは言葉が分からないだけで悪気はないと思うので、市役所の力で共存共栄できる環境にして欲しいです。学校のPTAでも彼らはお客様扱いで役員から除外されています。外国籍の児童の割合が増えてきたため、保護者の中でも不満の声が出始めています。町内会にも入りません。このままでは距離ができる一方なので多文化共生を掲げるならまず言葉の壁を解決すべきだと思います。</p>
<p>ここ近年、外国の方が働いていたりするのを見かけます。外国の方にもより良く住んでもらうためにも企業の方にも協力してもらう必要があるかと思っています。働きたくても働けない、言葉の壁など問題は沢山あるかと思っています。</p>
<p>根源にある差別をなくすべきである。</p>
<p>外国人のご家族で、お子さんは学校でフォローされていても、お家の方に対するフォローが少なかったり、アクションされていない気がします。情報収集の仕方や日常生活の相談をどこにしたらいいかの周知もしっかりしてあげて欲しいです</p>

まずは多文化共生がなぜ必要なのか市民への周知を進めてほしい。そして多文化共生となるために、教育・雇用・文化理解・納税・住居・防犯など整備することが多い。行政を中心に、多方面への業務委託が必要かなと思いました。

近所の外国人が交通ルールやゴミ出しルールを守らない事が多いので、生活環境の違い等お互いの理解が必要かと思うが、正直あまり親しくなりたくないと思ってしまう。
最低限こちらのルールは守ってほしい。

やりすぎはよくない。他の国で、日本以上にその国の事務手続等において通訳や翻訳を行なっているのでしょうか？

今まで意識したことがなかった。コンビニやスーパーでの買い物で、外国の方を見かけるくらい。もし自分が外国で暮らすなら考えると、文化の違いでいろいろ気づくことがあると思う。そういう意味では、多文化に考えてみるきっかけになった。

学校にいる外国籍の児童生徒だけでなく その両親へのフォローが必要だと思う。駐在で異国に住んだ時に孤独感を味わったことがある。言葉が通じないということは本当につらい。学校で子供も交えてイベントがあるといいと思う。

この地域は外国人を労働者（東南アジア系、南米系）とみている。
そのような意識を改革したらどうですか？

私はあえて外国人との交流を持ちたいとは思っていません。仕事をしているので、あえてその時間を作るのが難しいというのが本音です。ただ、もし自分の暮らす生活圏内に外国人の方がいれば、少しでもお互いに理解できるように考えたいと思います。今のところ、そういう意味では外国人と交流する機会に恵まれていません。

なんとなく思うのは、もし外国人の方に対して偏見を持っていたり、彼らの文化などを理解していない人たちは、いくら交流の場を作ったとしても、そこに参加することはほとんどないと思います。相互理解を図るにはもっと違う方法を考える必要があるのかなと思います。

例えば、広報で外国人の安城市民を紹介するなど、市民の目に触れやすくすることを考えたらと思います。彼らの母国がどんなところで、安城に住みながらどんなことに困っているとか、どんなことが楽しいとか、私なら知りたいなと思うからです。広報を一例にあげましたが、市民がよく目にするものであれば何でもいいかと思います。参考にさせていただけるとありがたいです。

安城市では市としての多文化共生の活動が色々あるにも関わらず、横の連携、情報の共有、周知徹底が上手く出来ておらず、安城在住の外国人の方、日本人市民が情報を知らない、または取り方が分からない事等が残念に思われます。

外国からの児童、生徒に義務教育制度は当てはまらないので、少なからず教育の機会を失っている外国人を見ることがある。日本の将来を考え、共存していこうとする未来があるのならば、そういう現実にも目を背けず、1人も取りこぼすことのないよう力を傾けてほしいと思う。

郷に入っては郷に従えということわざが日本のみならず外国にもあります。
日本に住む外国人に日本人が合わせる事が“共生”と捉える傾向もあるようですが、日本人が暮らしにくくなる行政に傾かないように願っています。

多文化共生という言葉は初めて聞いた。
今回のアンケートを通じてなんとなくイメージはつかめたが、外国人にあまりいいイメージを持っておらず、行政として積極的に外国人支援を進める必要はないと感じる。
優秀な外国人は支援をしなくても自分から共生する方法を模索して地域になじんでいる。
一方、そうでない外国人に対して費用をかけて支援は不要と感じる。

先日、外国人への生活保護に関する市職員の残念な対応について問題になりました。
多文化共生について市民に問う前に、市の職員自ら勉強して理解を深めるべきだと思います。
数年おきに配置換えになる公務員の特性上、担当する仕事について専門知識が足りないことがよくあると思いますので、なおさら勉強して頂きたいです。

留学生を多く招くことが、お互いの多文化共生に自然に無理なく、繋がっていくと思います。

外国人による犯罪が増えているので対策して欲しい。外国人が犯罪を起こしても罪が軽い!なぜそうなるのか?外国人優先で日本人が住みにくくなるだけ。

私も外国に住んだことがあります。ルール規則を前面に出すのではなく優しく接して欲しいものです。その方が受けた方は嬉しいものです。

基本は賛成。しかし、外国人への過度な甘やかしは、増長するだけ。
ネットでも安城市の外国人への対応は、話題です。
あくまでも、場は与えるが、必要以上におもてなししなくてもいいと思う。
アンケートの趣旨とは外れるが、日頃思ってたことを書きました。ごめんなさい。

外国人市民の方が職場にいますが、税金や市の手続きについて、よく質問されます。日本語が読めない方もいらっしゃるので、多言語に対応してもらえると生活しやすくなるのではないかと思います

職場に外国人の人がいます。仕事を教えてもきちんとやる人やらない人色々います。お国柄ではなくてその人の性格だと思います。日本人でも真面目に仕事する人少ない人いるように。

外国人市民への生活保護申請拒否のニュースがあったと思いますが、その件については、問題発生の背景や再発防止への取り組みなどを公開して下さい。謝罪しておしまいとかなら、多文化共生は難しいと思います。すでに公開しているようなら申し訳ありません。

昔、家の近くに住んでいた外国人（ブラジル人？）は気持ちよく挨拶もしてくれて良い人だと思ったけど、その家に出入りする外国人の中には目つきが怪しい人もいました。あまり家が近すぎると正直怖いと思うこともあります。しかしスポーツイベント等、多人数のイベントなら趣味を同じくする者同士、さわやかな交流が出来るそうです。少子高齢化の時代、地域の多くの会社が人手不足です。これからの地域経済（製造業等）は外国人の方の労働力が本当に必要です。外国人実習生で日本に来てても労働環境が良くない、日本の生活になじめない・・・実習期間が過ぎて帰国すると二度と日本に戻ってくれない外国人がいます。逆に日本が好きになり再び日本で働きたいと来てくれる人もいます。韓国等と比べると日本での給料は外国人労働者にとってそんなに良くないと聞きます。（円安も影響しています）少くく給料が安くてもまた日本で働きたいと言ってもらえる地域社会が必要です。だから多文化共生の理念は大事だと思います。外国人が多い豊田市等近隣市と情報共有・連携しながらどうしたら日本の生活に外国人がうまく馴染んでいけるかを創造（地域住民を巻き込んで）してほしいです。そうして西三河全体の人手不足解消になればと思います。

近くの病院は、違う言語の看護師さんがいるし、小学校も多言語の先生がいて、安城市は、着実に進められていると思います

日本、特に安城市のマナーやルールの中での共生が必要条件と考えています。農業支援とか企業の支援を名目で安城市で生活するとしても共通のルール、例えばゴミ出しや交通安全等のルールを守る中でこそお互いに生きて行けると思う。安城市は今以上にルールやマナーの啓蒙に力を入れてほしい。

殊更、外国籍の方との共生うんぬんと考えなくても、日本人の中でも、いろいろなバックボーンを持っている方々がいます。異なる宗教や、異なる食生活の方々が、完全に同じ境遇になることを目指すのは所詮不可能なので、行政としては、市民生活上の最低限の範囲に絞ってできるだけ具体的な配慮を行う、という取り組みが必要だと思います。具体的には、町内会組織の中でも、日本文化以外の方々がいらっしゃいますが、回覧板の内容の翻訳を安城市のサービスとして実施するとか、そういう細かい事案の補助を充実していく方向が良いかと思います。

犯罪を犯す外国人のことをニュースで耳にすることが多いですが、大多数の方はとても勤勉で素直な方のように思います。生活できなくて犯罪に走ることはないよう日本の制度、民間のサポートがもっとできるとよいなと思います

様々な地域の外国人が随分増えたと感じます。通りすがりに挨拶する程度ですが、感じ良く挨拶してくれます。日常生活、生活文化は違うなあと思うこともあります。コミュニティができていて、交流等はあまり無い。近所の普通の日本の家庭に入っている人たちはがんばっているなあと思います、馴染んで普通に日常を送っています。特に特別な事ではないと思います。

漢字が、難しいと聞いた事あります。フリガナが全ての案内にあると良いですね。

私の住んでいるマンションは、外国人の方も入居されています。私は、笑顔で挨拶をしたり、駐車場でお会いした時も、笑顔や挨拶には気をつけています。日本の習慣に慣れていないので、ゴミの回収の事や郵便BOXの周辺にゴミが散らばっていたり…目についたりします。日本人もマナーのない方もいますが、きちんと教えてあげるようにして、一つ一つ解決していくようにしていく事だと思います。（アパート、マンションは、管理人を通すかたちでいくようにして。ただスムーズにいくばかりでは無い場合もあるかもしれませんが。）

市役所が窓口になることが外国人の方にとって一番安心して利用しやすいと思います。また、就労で日本へ来ている方が多いと思いますので、各勤め先企業での対応も効果が高いと思います。

近所のアパートに外国人が住んでいるが、総じてアパートの方は、日本人も外国人も地域の行事や町内会活動には参加されません。お互いによらず触らずの関係で過ごしているように思います。普段はそれですみませんが、災害時の対応に不安があります。

多文化共生するために、環境の整備・提供をしていくことは必要ではありますが、まずは、自国の文化と日本の文化が異なっており、ルールを守ることなど日本人特有の意識があつてこそ、安心・安全な生活ができているということを外国人市民に周知徹底することが重要だと考えます。

さくら庁舎での大人向けの日本語教室にボランティアとして関わっています。市は多文化共生に関わる施設を一か所に集めて、「ここに来れば相談にのってもらえる・情報を得ることができ」ようにしたいと言ってみえました。日本語教室は一か所に集まりましたが、相談・情報に関しては整備されたとは言えません。また、車の免許がなく、公共交通も充実していない地域に住んでいる人は、そもそもここへ来ることもできません。市として各中学校区に一か所は日本語教室や相談窓口を整備する方針を持ってください。

また年少者（小中学生など）への日本語支援は、国の基準通りの各校10人以上の日本語支援を要する児童生徒がいる場合にしか担当教員が加配されません。希望としては一人でもいれば加配をつけてほしいです。せめて10人という国基準より手厚い支援体制をお願いします。初期指導教室も市内に2か所しかなく、自力で通うことができる人にしか門戸を開いていないので、初期指導教室に通うことができる児童生徒は限られています。せめて各中学校区に一か所整備するか送迎バスを走らせるなど、初期指導教室を必要とするすべての児童生徒が教室に通うことができるようにしてください。

日本語指導を必要とする人が身近にいるのが当たり前の社会です。日本語教室をたくさん作るために、ボランティアを積極的に養成してください。学校に日本語指導を必要とする児童生徒が要るのが当たり前の社会です。担当教員を加配するだけでなく、管理職をはじめ全ての教員にそういう子どもたちへの支援について理解を深めるための方策をとってください。

安城市も外国人市民と交流を持とうといろいろな取り組んでいるが、単発的なものや閉鎖的なグループ活動が多い。職場で外国人（あるいは親が外国人）の学生と接することが多いので、もっと基本的なところで「安城市民」としてこちらも扱う、本人たちも自覚する必要があると思う。いつまでもお互いに「お客さん」感覚が抜けない。

治安が悪くなるので日本人だけで暮らしたい。

文化、スポーツ、料理など皆が適当に集合して交流をより進めるようにしたら良いかと思いません、学校でも各国の生徒が人数は少ないですが入学してきているので、地域での交流（公民館など）ができれば良いと思います。

日本人同士の交流が先。共働きの時代にあつて日本人同士の交流が少なくなった。多文化共生は意味がない。

あくまでここは日本国内であるので、外国人が日本の文化、習慣を理解してその文化習慣に同化していく、もちろんできる範囲であるが、そうしていく事で非常に好感が持たれる事と思う。日本の文化習慣を身に着けて母国に帰ってそれを発揮していけば世界が平和になるのではと思う。日本の文化、習慣は世界に誇れる素晴らしいものと考えます。

これからの安城市は若者人口減と理解しています。多文化共生する為に早急に対策して受け入れ体制をアピールしていくことが地域の発展に繋がる手立てと考えます。

安城市ではボランティアの日本語教室なども多数あり、また治安も安定しており地域に馴染んで暮らしたいと希望する外国人には比較的暮らしやすい街だと思います。

ただ、そういうところに参加する外国人はまだまだ少ないよう思うので、自然と参加して日本語を覚えようと思ってもらえるような取り組みが必要ではないかと思えます。

やはり暮らして行く上で、言葉を覚えてもらうということは緊急時でも必ず必要だと思うからです。

特に現時点では思いつきませんが、ボランティアグループを発足させて、多様な国際交流企画をすることが外国人にも優しい日本人だなと知ってもらえるようにできないでしょうか？

外国人市民を否定していないが、これ以上多くなることは希望しない。

他の西側諸国内での小競り合い（人種だったり、宗教の違いでデモや暴動、事件が起きたりすること）は日本で多く起こって欲しくない。

訪日外国人の多くが日本の安全について驚いているが、裏返せばこのようなことに苦しんでいるとも言える。

出生率の低下、労働人口の減少の問題もあるので、徐々に、ゆっくりと日本に馴染んでいただける人々に入ってきてもらいたい。

そうしないと日本の魅力は一気に失われ観光客さえも来なくなる。

近頃は、どこに行っても外国人と会う。日本で暮らしている外国人も増加している。これからは、日本も外国人と共生する事が必要だと思う。それには、外国人に日本語を学んでもらうと同時に、日本人も外国語を学ばなければいけない。外国語を学ぶ機会を作る事が必要と思う。